

## 町長への総括質疑

**問** 室生犀星作詞の校歌を町の文化財として残せないか。

**答** 他の学校の校歌も含めて文化財保護審議会に諮って対応したい。

**問** タバコ税収の予算が2100万円も増えている。何らかの便宜も必要ではないか。

**答** 吸う人、吸わない人両方の立場で検討したいと思う。

**問** 国保税増税を避ける方法を検討していただけないか。

**答** 委員会の協議を聞いた上で、どれだけ支援ができるのか検討したい。

**問** 中子町有地除染のような金銭的に大きな案件は、事前に町民の意見を聞いてから予算を付けるべきではないか。

**答** 早くあそこに企業を誘致する、あるいは他の使い方方で活用するという、多くの町民の思いから予算を付けた。

**問** 疑念を持っている町民もいる。

**答** いろいろな意見もあるが、湯沢町の平場で一番広い土地を一日でも早く使えるようにしたい思いだ。

**問** 旧ノリタ光学跡地の町有地除染後、明るい見通しを持っているのか。

**答** ノリタ光学跡地に関わらず、いろいろな

## 反対討論

高橋 綾夫

まずノリタ光学跡地の除染事業です。確かに町有地が汚染された状態は好ましくありませんし、いずれは町が責任を持って処理しなくてはなりません。しかし今回当初予算に計上した手順は「ま

ちづくり基本条例」に反する事と思います。

町民は先の施政方針で初めて除染にかかる費用の事を知りました。「情報の共有による協働での町づくり」という基本条例の理念に反する事で、この事業をどうしても急いで行うのであれば、当初予算には組まず町民に説明し、理解を得てから補正を組んで行うべきだと思います。

## 反対討論

佐藤 守正

2つの理由で反対します。

1つめは役場職員の無理な人員削減です。平成17年には184人いた職員が、平成24年末には139人と45人の減、8年前の75%の人数になっています。この人数をさらに減らして、3年後には130人にしたいといっているのです。

また行政の行う多くの事業に国や県の補助があるように、民間が地域の為に行う事業にも多くの補助制度があります。4億6000万円の自主財源があれば、制度を利用し15億円前後の事業が可能かと思えます。少しでも融通の利くお金があるうちに、「協働での町づくり」を行い、町経済を活性化させ、雇用増と税収増を図る事こそが、町

民の今一番求めていることだと思います。そして作成したばかりの「観光振興計画」が初年度である本予算案に全く反映されていません。「協働での町づくり」や「観光振興計画」がもつと前面に出された予算編成を行うべきとの理由により、私は本予算案には賛成できません。

これだけ人を減らしたのに、仕事量は減ってはいません。地方分権、地域主権のかけ声のもと、中央の仕事が地方に移譲されて、仕事はかえって増えています。

人が多く出てきているのではないのでしょうか。

その結果、職員はゆとりを無くし、休職を余儀なくされるような病気が頻発しています。それもメンタルな病にかかって休む人が絶えないようです。日常の業務に追われ、職員は生き生きのびのびと仕事ができなくなっています。それで、定年を待たずに途中で退職する

町に、町づくりのビジョンと気概を持った優秀な人材がどれだけ育っているかで決まります。仕事への意欲を削いでいるような無理な人減らしと、大きな災害があった時には対応できないほどの職員削減はやめるべきです。そして仕事に生きがいを感じる意欲的な人材をどう育てていくのか、真剣に考えねばなりません。いざ大きな災害があった時には対応ができない程

もう1つの理由は、学校建築費のプラス6億円です。これはいまだに納得できる理由が示されたとは思えません。住民にきちんと説明できない多額の出費はやめるべきです。工期が著しく短縮され、無理な施工の中で、更なる予算の追加が出てくるのではないかと、私は危惧しています。

以上2点が、私が一般会計に反対する理由です。

## 会計当初予算討論